

議案 1

A I 活用型オンデマンドバスの 実証実験について

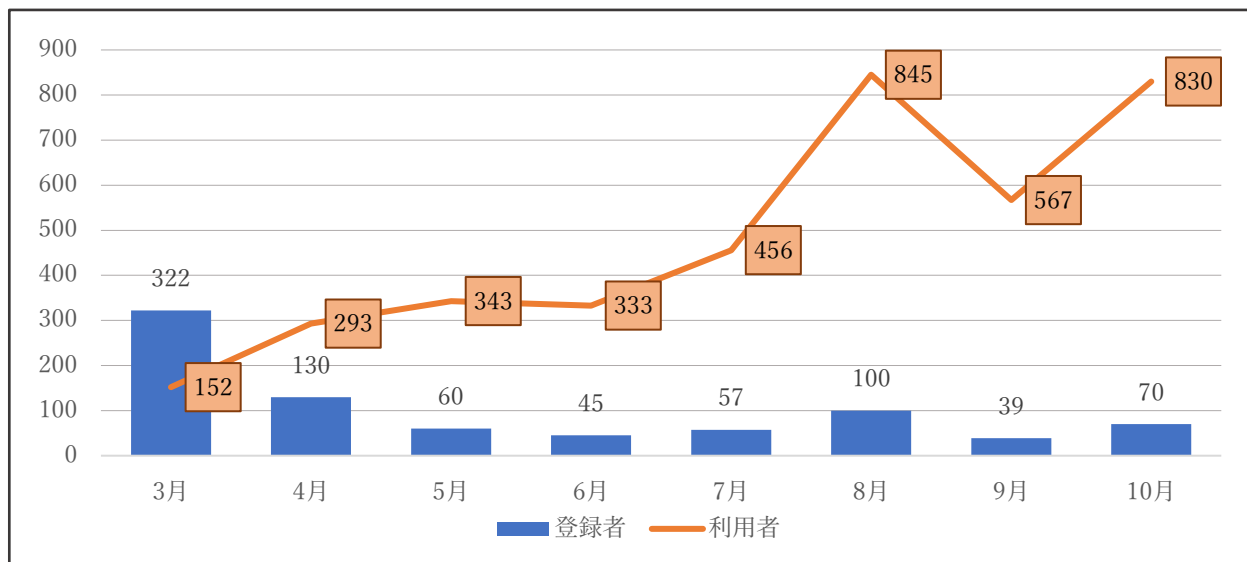
路線バス AI デマンド化実証実験（第二期）について

1. 背景

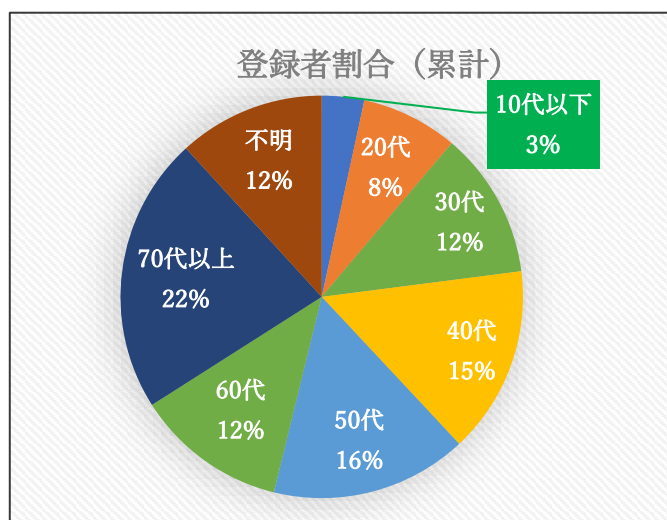
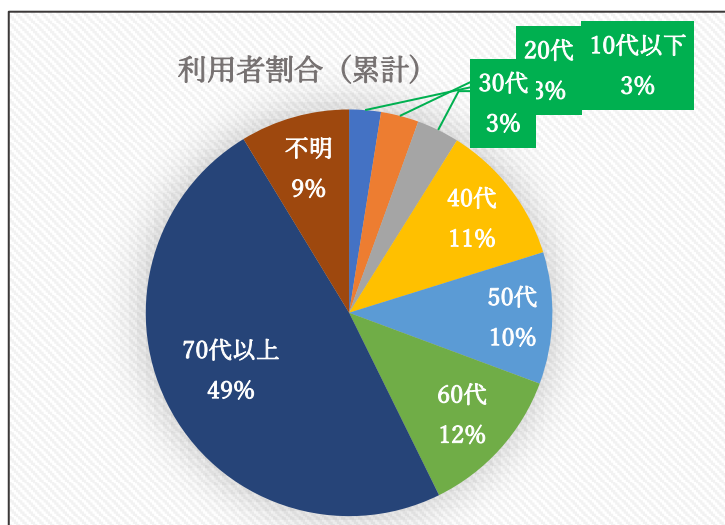
- 現在、全国的にバスの運転士・整備士不足による路線網やダイヤ維持が困難となっている中、2024年3月より、路線バスの安定的な運行及び交通ネットワークの維持・発展を目的に、宮崎県の補助を活用して、AI活用型オンデマンドバスの実証実験を恒久・田吉地区で開始している。
- 恒久・田吉地区での実績については、下記の通り。
地域を走る路線バス利用者に減便の影響は見受けられず数値は横ばいだが、デマンドの利用実績は増加傾向にある。
- 今年度についても、昨年度同様宮崎県の補助を活用し、AI活用型オンデマンドバスの実証実験実施を検討。運行エリアについては、AI活用型オンデマンドバスの導入効果が高く、既存の実証実験エリアとの相乗効果も期待できる「月見ヶ丘・あさひヶ丘」エリアでの実施としたい。

2. 恒久・田吉地区エリア 実績

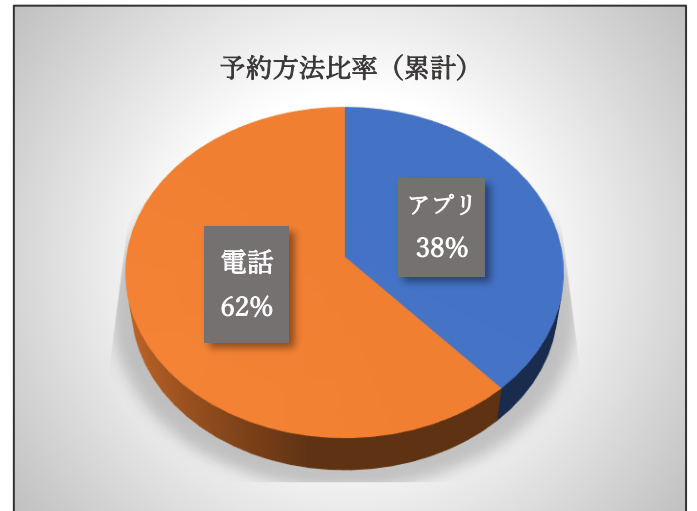
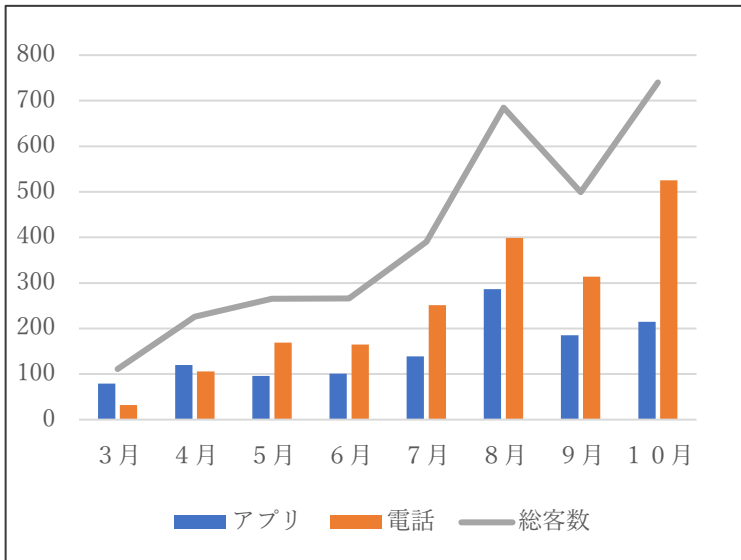
■利用状況



8月無料キャンペーン実施



■予約方法



■広報実績

地域住民の方への説明会 18 回、試乗会 11 回、チラシ配り 6 回、ポスティング実施 3 回、新聞折込 3 回、ラジオ放送 1 回、など。

1 か月無料キャンペーン時(8 月)には宮交シティにて飛江田線利用者へ向けビラ配りを実施。

説明会実施は全自治体には出来なかったが、積極的に行った。

試乗会での反応は良好。実際に体験頂く機会は、より身近に感じて頂けるため必要であると感じた。

新聞折込やチラシ配布において、一時的ではあるが登録数が伸び手応えはあった。

限られたコンパクトな範囲での広報は、メディアや SNS 発信は難しい。引き続き、チラシ配布や新たな手法(宣伝カー)も検討中。



■課題

- ・路線バスのデマンド化として実施しているが、バス利用者も依然として多く、新たなモビリティへの抵抗感を感じる。
- ・昼間帯も、徐々に伸びてはきているが、新規で利用される方が伸び悩んでいる。段階的に減便することでのるーとへ完全移行、運転手不足解消を目指す。
- ・リピーターが増えており一度利用すると利便性を感じてくださっているようだが、最初の一步が難しい。アプリ等の説明が入ると、デジタルへの抵抗感が伺える。
- ・のるーとの利用者数もまだまだ少なく認知度も十分ではないため、今後も広報活動を積極的に実施したい。

3. 月見ヶ丘・あさひヶ丘 運行計画

■実験の詳細

利用システム : ネクスト・モビリティ株式会社 AI 活用型オンデマンドバス「のるーと」
 運行区域 : 月見ヶ丘・あさひヶ丘地区(3 キロ平米)エリア ←(域内移動含む)→ 宮交シティ(交通結節点)
 運行期間 : 2025年3月1日～2025年8月31日 を予定(6か月間)
 運行時間 : 9:00～17:00(期間中 毎日運行)

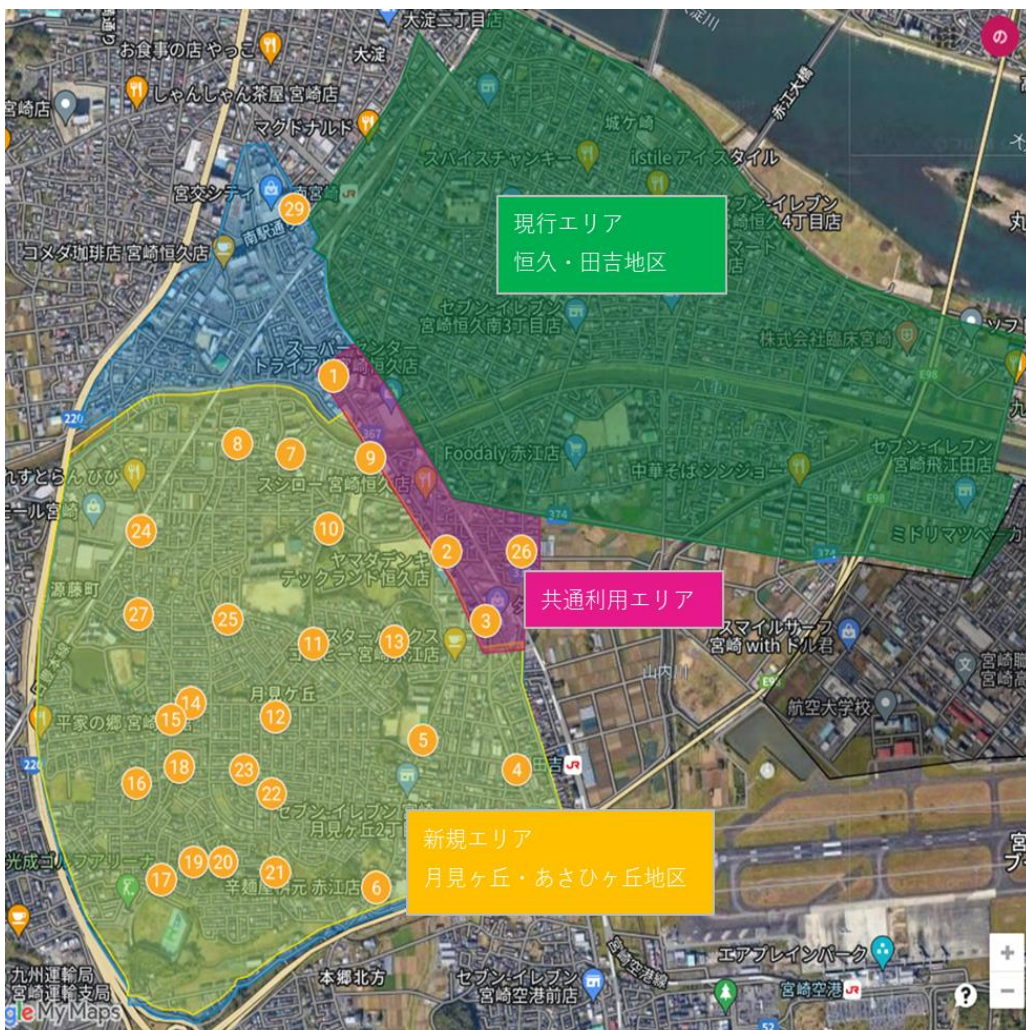
※周知を含め 3/1～3/31 はお試し期間として既存バス路線を維持する併用期間とする。

※4/1 に、当エリアのダイヤ改正を検討、AI オンデマンドバスへの移行を促進していく計画。

■選定理由

- ・住宅地で人口も多く、また高齢化率も高いのでデマンド適性が高い
- ・運転士不足解消のためには同一営業所区域での運行が最効率。
- ・現エリアと隣接している地域であるため、車両・運転士を共同利用することが可能(2 エリア 4 人ではなく、3 人で運行可能)。
- ・将来的にはエリアを統一することで、お客様から意見が上がっている「恒久エリア→月見ヶ丘エリア」への移動ものるーとで可能となる。
- ・車検等、車両の定期点検時に予備車を共同利用できる。

■運行区域及びミーティングポイントの配置予定マップ



※主要ミーティングポイント

- ① 中恒久
- ② 農高前
- ③ 南部病院前
- ④ 田吉
- ⑤ 赤江中前
- ⑥ 柳籠
- ⑦ 源藤団地前
- ⑧ 吉永センター入口
- ⑨ 月見ヶ丘入口
- ⑩ 南高校
- ⑪ 母子像前
- ⑫ 月見ヶ丘
- ⑬ 月見ヶ丘1丁目
- ⑭ 池の上
- ⑮ 月見ヶ丘西
- ⑯ 月見ヶ丘南
- ⑰ あさひヶ丘
- ⑱ 月見ヶ丘幼稚園入口
- ⑲ 高山緑地広場
- ⑳ 月見ヶ丘3丁目入口
- ㉑ 児童公園下
- ㉒ 月見ヶ丘郵便局前
- ㉓ 月見ヶ丘4丁目
- ㉔ 源藤公民館
- ㉕ 月見ヶ丘ふれあい公民館
- ㉖ 宮崎市 赤江地域センター
- ㉗ 源藤ニュータウン緑地広場
- ㉘ ホームプラザナフコ 南宮崎
- ㉙ 宮交シティ

拠点数 : ミーティングポイント 52ヶ所予定で検討中。新規 9ヶ所、既存バス停

■運用及び利用方法

- 車 両 : ワンボックスワゴンタイプ 10 人乗り
(運転士 1 名+利用者 9 名乗り ※助手席は使用しない。)
- 運 用 : 既存の導入エリアと車両を併用して運用(1 日 3 台稼働)
- 運 賃 : 1 乗車 300 円 小児割引、身障者割引あり(1/2)、幼児無料。
※運賃は軽微運賃。

予約方法 : ①スマートフォンアプリからの予約(専用アプリ、LINE) ②電話受付による予約

決済手段 : 現金、IC カード(ニモカ)による SF 決済、および専用アプリによるオンラインクレジット決済

4. 恒久・田吉地区エリアの拡大

隣接するエリアの中間部分一帯を恒久・田吉地区のエリア拡大とし運行可能とする。

商業施設も多く、宮交シティ以外の交通結節点として利用者増加につなげたい。

5. 今後のスケジュール

各種協議 : 2024 年 12 月 19 日 地域公共交通会議、ミーティングポイント設置に向けた各管理者との協議

申請 : 2025 年 1 月中 プレス発表。

告知・周知 : 2025 年 2 月～3 月(住民説明:自治会単位・回覧版等 HP、パンフなど 継続して実施)

運行開始 : 2025 年 3 月 1 日(土)予定

以上